で述べた。 ことなどについては、2 対策であると考えられる
ては、十分な検証が必要 油コンビナートの被害」 拙稿「東日本大震災と石 011年9月10日付けの 故はいずれも過去に経験 がないほどの規模・内容 だが、上記4地区の事 する高圧ガス施設が爆発 タンクの火災により隣接 津波後に発生した施設や ート地区)の事故では、 多賀城(仙台コンビナ 波により損傷し火災現場 荷設備をつなぐ配管が津 たこと、タンク元弁と出 毒ガスの発生が懸念され 黄タンクの延焼により有 隊が近づけず、また、硫 た理由は、津波によるガ とキ等で火災現場に消防 3日間消火出来なかっ 群にも次々に誘爆して、 管を損傷したためLPG タンクの支柱の一つが余 なく爆発、付近のタンク が漏洩。このガスに何ら を張っていたLPG貯蔵 の事故は、点検のため水 かの火源が引火して間も 震で座屈し、隣を走る配 も大きな役割を果たし らの冷却放水について は、海上保安庁と海上災 害防止センターの消防艇 たった(消防庁)。海上か 地元市原消防の支援にあ 員219人の応援部隊が 化学消防車など52両、隊 れ、東京消防庁、千葉、 川崎、横浜の各消防局と 一重県の消防部隊が出 合計で、消防艇3隻、 する大事業所に、自前マ ートの重油流出事故をき している区域等とされて 防車、大型高所放水車、 は共同で自衛防災組織と で、コンビナートを構成 っかけに制定されたもの 岡山県水島市のコンビナ 防災資機材(大型化学消 又は取り扱う施設が集積 泡原液搬送車、

オイルフ 石災法は、昭和49年の 災本部」を設置して、都 油コンビナート等現地防 が発生した場合には、「石 ている。そして万一災害 隊や事業所関係者、専門 関係市町村のほか、自衛 子力災害対策特別措置法 て対応にあたることが予 道府県知事が中心になっ 災害に備えることとされ 定されている。 家などが本部員となって このような体制は、「原

防庁長官から緊急消防援

000万㎡以上を貯蔵し

10万以以上、高圧ガス2

ト等防災本部」を設置し

で、あの津波被害や原発

事故がなければマスコミ

の耳目が集中したはずの

れた。また、配管等が津

にわたり避難指示が出さ

する危険があったため、

付近住民に対して3日間 にガソリン等が供給され いる(仙台市消防局)。火 続けていたこととされて

口油コンビナートの

と大震災(その1)

られている、ということ け危険な施設と位置づけ

防災体制だった。それだ **るまでは、唯一の特別な** (平成1年制定)」が出来

援部隊も同様で、被害の

たるなど、対応が分かれ 緊急消防援助隊など応

防では苦しい対応を迫ら

た仙台市や塩釜地区の消 め、津波被害のひどかっ

れても仕方がない状況だ

ど現地任せだったと言わ は行っているが、ほとん どに応援部隊の派遣要請

れたのに対し、市原では

だが、冷静に考えれば

災害との兼ね合いで対応

地元消防機関は、

他の

いない。千葉市消防局な

せざるを得ない。このた

とがそれを裏付けてい

事故については「現地防

災本部」の設置も行って

しており、コンビナート 被害などでてんてこ舞い

うだ。周囲の人家に被害 の役割はほぼ果たしたよ

を及ぼした事故がないこ

たと言えるだろう。大地 千葉県の対応は妥当だっ 震で同時多発的に大災害

が起きれば、限られた応

ビナートの防災対策につ

今回は、大地震とコン

は石油コンビナート(以

目が行ってしまうが、実

津波と福島第一原発のメ

ルトダウン事故にばかり

下「コンビナート」)でも、

るべき大事故が起こって

後世に永く語り伝えられ

地での行政需要殺到への 対応との優先順位を考え 火災・爆発の被害が周辺

中部コンビナート地区) 一方、市原

遣と並行するかたちで消

ビナート等災害防止法

災害対応と異なり、都道

府県が「石油コンビナー

振り絞って奮闘し、所定 衛防災組織は持てる力を 村の責務とされる通常の

災・爆発・漏洩などに自

の姿は見えない。宮城県 はもとより、千葉県も死

か、というと、記録上そ

応に任せることは当然だ

(以下、次号に続く)

なるべき県はどうだった

トの大事故対応の中心と

石災法上、コンビナー

津波とそれに続く火

(「石災法」)上は、石油

のことである。石油コン

ェンス展張船や油回収船

損し、大型高所放水車等

施設や非常通報設備が破

の車両が水損、オイルフ

も破損した。

対策本部の役割だから が被災した津波被害や各 への対応と、多数の住民 ナート区域内での大爆発 に投入するのが県の災害 援資源をできるだけ有効 人家から離れたコンビ

大事故に化学部隊や消防

ひどい東北地方への緊急

応援を行いつつ、市原の

と判断されれば、現地対 人家に及ぶ可能性が低い

模が巨大である割に大き な事故の件数が少なく周

爆発・危険物流出事故が

辺人家の被害もなかった

っていた地震被害等防止 応がなされたのかについ 故で、何が起きどんな対

県市原市の火災・爆発事 た宮城県多賀城市と千葉 指示や避難勧告が出され

特に、周辺住民に避難

出油等防止堤、

海中部)で大規模な火災・

意しておかなければなら

波により破損し敷地内に

数千k0の石油が流出。流

と津波で大混乱の住民に 周辺市からも見え、地震 災の炎や煙は仙台市など

災及び爆発により、付近

鎮火までに10日を要する

大火災となった。この火

「コンビナートと防災体

つこと、プラント部分(事

改発生率が高い)と大型

だったか]

日市コンビナートを擁す

面作戦を強いられた。四 艇を振り向けるなど、両

る三重県の部隊(31隊1

恐怖を与えたということ

ールが発生するなど、世 爆発の際にはファイアボ

質を効率的に活用するた

ることなどを義務づけて

ろうか? 答は「Yes

&No」だろう。

生産される各種の化学物 油精製の過程で派生的に

のエリアを分けて配置計

のような石災法に基づく 防災体制は機能したのだ

> 応に振り向けたのは良い 10人) を市原の事故対

判断だったと思う。

東日本大震災では、こ

貯蔵タンク(消火困難)

画を作り国の審査を受け

コンビナートとは、

たり避難勧告が出され、 住民に対して14時間にわ

界のコンビナート災害中

に残る大事故となった。 この事態に対して、東

> 中して立地している区域 め、様々な関係工場が集

慈、仙台、鹿島、京葉臨

大災害だったことには留

本にある85のコンビナー コンビナートの事故 東日本大震災では、日

トのうち4つの地区(久

いて考えてみたい。

|東日本大震災における